

新しい街づくりに

地域の不動産屋として貢献

新しい不動産のカタチ vol.7



早川眞市 社長

Profile プロフィール
はやかわ・しんいち
福岡市出身。1950年9月11日
生まれのおとめ座。90年に社
長就任。趣味は将棋と読書

不動産管理業を中心に、売買、仲介などを手掛ける（株）早川不動産。本社を置く吉塚の隣駅である箱崎地区では、「九州大学箱崎キャンパス跡地地区土地利用事業」が具体的な事業化に向けて動き出した。それに伴い同社でも箱崎エリアの情報収集を推進。自社ブランドとして展開する賃貸マンション「リラスシリーズ」の開発や、古民家や築年数が経過したマンション、空き家の再生などに携わった経験を生かし、新しい街づくりに対応できる態勢を整えている。

（制作・ふくおか経済企画開発部）

福岡市内の再開発プロジェクトとして注目度が高い「九州大学箱崎キャンパス跡地地区土地利用事業」。九州大学と、UR都市機構が4月、その優先交渉権者に住友商事（株）を代表者とするグループを選定したこと

で、いよいよ具体的な事業化に向けた動きを本格化させる。吉塚に本社を構え、博多区や東区、糟屋郡などを主な営業エリアとして総合不動産業に携わる（株）早川不動産の早川眞市社長は「公開された街づくりのコンセプトやイメージ図を見て、世界に類のない街づくりが進むことがわかり、今まで以上に大きな期待を寄せている」と心躍らせる。同社は箱崎エリアにも管理物件があるため、「再開発エリア周辺の街づくりに何かしらで貢献したい」という思い

が強い。不動産管理業や売

買、仲介に加え、自社ブランドとして展開する賃貸マンション「リラスシリーズ」の開発。さらに古民家や築年数が経過したマンション、空き家の再生などに携わってきた経験を生かし、最先端の街並みにリンクする周辺開発への参画を構想する。まずは、エリアの情報収集を進め、新しい街づくりに対応できる態勢を整えていく。

また、開発に伴い、多くの工事関係者が来福することも予想される中で、ウィークリーマンションの提供も検討。現在、福岡市内中心に約200戸を展開しており、着工後の需要を予想し、さらに供給戸数を増やすことも検討している。

（株）早川不動産は「公開された街づくりのコンセプトやイメージ図を見て、世界に類のない街づくりが進むことがわかり、今まで以上に大きな期待を寄せている」と心躍らせる。同社は箱崎エリアにも管理物件があるため、「再開発エリア周辺の街づくりに何かしらで貢献したい」という思いが強い。不動産管理業や売

不動産に新しい価値生み出す （株）エスパース建設

そんな新しい街づくりに携わるためにはグループ会

